

高西地区 から こんにちは
今月の 気になる人



大野見支所管内より

寒さに負けんきね

勢田 政志さん (89)

水稲、ゆず、柿等を息子さんと一緒に栽培している勢田さん。夏はシントウを農協に出荷しているほか、自家用の野菜づくりなど「ポチポチやりゆう」そうです。これからは100歳を目標に、趣味のお酒を晩酌にポチポチ飲みながら、元気に頑張りたいとおっしゃってくださいました。



栲原支所管内より

自家製そばをどうぞ

上田 知子さん (63)

栲原町太郎川で農家レストラン「くさぶき」を営んでいる上田さん。坂本龍馬が脱藩した道沿いにある伝統的な草ぶき屋根のレストランで、自慢の手打ちそばやキジ飯などをたくさんの観光客に振舞っています。上田さんは「栲原ならではの食材にこだわり、ここでしか味わえない料理をたくさんのお客さんに提供したい」と語ってくれました。



栲原支所管内より

民宿もやっています

中越 優子さん (69)

栲原町川井の中越さんは、ご夫婦で甘とうや原木シイタケを栽培する傍ら、観光客のための民宿も営んでいます。JA女性部の一員としても日々活躍しており、津野山管内のお土産品として人気の高いドレッシングや焼き肉のタレ作りに力をいれています。優子さんは「身体が元気な限り、毎日できることをコツコツ頑張りたい」と話してくださいました。

四万十支所管内より



野菜をたくさん作ってます

大西 一広さん (66)
紀子さん (65)

釣りが趣味の一広さんと、ガーデニングが好きな紀子さん。水稲やキュウリを中心に、白菜など多くの品目を育てています。ハウスでは基本的にお2人で作業をしているそうで、春先にはカボチャやトウモロコシなども作られる予定だそうです。

興津支所管内より



マイブームは海苔巻き作り

村田 理香さん (55)

ご家族でピーマンを栽培している村田さんの趣味は、美味しいものを探して食べに行くこと。興津地区の女性部員としても活躍され、様々な催しで得意の料理の腕を振るっています。2月には高知市で女性部の活動発表をしていただきました!

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 四万十地域

農業振興意見交換会を開催



活発な意見交換が行われました。

1月31日、四万十支所で農業振興意見交換会を開催しました。各品目の部会長や農協職員のほか、県の農業振興部長や県議会議長など約50名が参加しました。各組織からは現状報告と品目ごとの情勢について報告があり、収穫や出荷調整作業における労働力不足が課題に挙げられました。人力での作業が必要な部分もあるため、作業の機械化の推進と合わせ、生産力を維持する労働力の確保を目指し取り組んでいきます。

3 四万十地域

ハウスに強風被害



被害にあったハウス

1月27日に発生した大雨と強風により、四万十町管内ではビニールが飛ぶなど約30軒のハウスに被害が出ました。翌日から購買課職員を中心に約10名が農家へ赴き、2月1日までハウスの修復を行いました。突然の被害にも対応できるように今後も備えを続けていきます。ハウスの修復に関しては組合員外の方でもご利用になれますので、購買課までお問い合わせください。
(四万十支所購買課
088012215178)

6 津野山地域

ナス部会 個別面談を実施



面談中の生産者と品目担当職員ら

津野山地域のナス部会は1月29・30・31日の日程で、部会員全員と個別面談を実施しました。作休期間を活かし、品目担当指導員と振興センターの担当者が、昨年の栽培出荷実績を基に次作に向けた課題や目標を検討しました。生産者の状況に合わせた目標を提案することで、栽培技術向上と収量増大に繋がっていきます。営農指導課では農家巡回など生産現場へ出向く体制の強化にも取り組んでおり、指導力の強化を目指します。

4 津野山地域

花木の出荷始まる



出荷を迎えた花桃の切り枝

津野山地区では花木の出荷が始まりました。花桃や桜、アジサイなどの切り枝を加温ハウス内で芽吹かせ、新芽や花蕾の具合を確認しながら3月初旬頃まで随時出荷され、今年約7万本の出荷を見込んでいます。
花木の生産者らは、「世の中に一足先に春をお届けし、花の温かみで世の中を元気にしたい。」という優しさ溢れる想いで栽培出荷に取り組んでいます。



防護服の着脱を実践

1 四万十地域

豚熱の防疫研修開催

1月10日、高知県肉用子牛価格安定基金協会主催の「アフリカ豚熱・豚熱防疫演習」が行われ、家畜保健衛生所職員や養豚農家約40人が参加しました。
豚熱は平成30年9月に岐阜県での発生が確認され、今年1月10日時点では8県で53事例が発生しています。これまでに約15万5千頭の豚が殺処分されました。国内では野生イノシシの感染が確認されており、発生地域の拡大防止のため、これまでに飼養豚への
ワクチン接種や豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針の改定などの対策がとられています。四国での発生は確認されておらず、また人への感染はありません。
高知県農業振興部畜産振興課の森光智子氏が豚熱の症状、特性などを解説し飼養衛生管理基準の遵守を呼びかけました。演習では防疫に使用される消毒薬の効能、使用方法について説明されたほか、防護服の着脱についても実演され参加者は熱心に聞き入っていました。



販売体験へ向けた学習の様子

2 津野山地域

出前授業で特産品を紹介

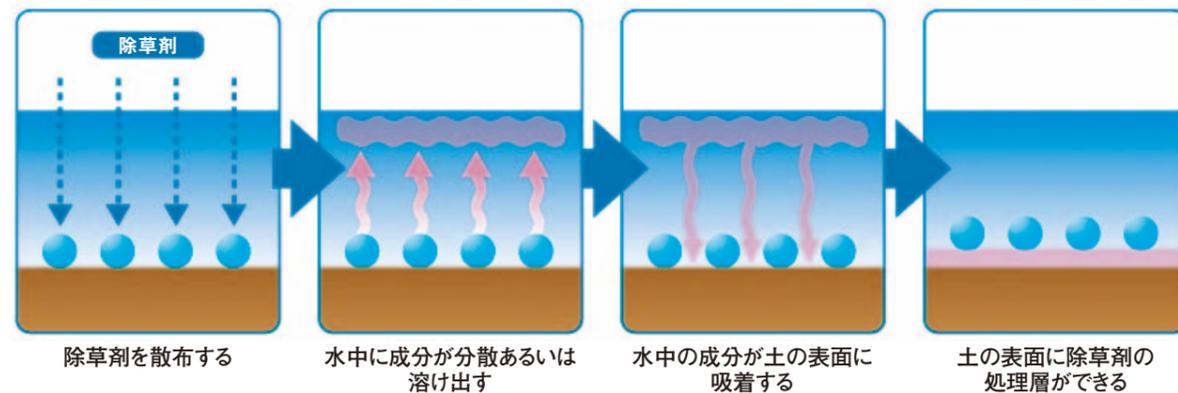
1月31日、津野町の東津野中学校で管内の特産品をPRする出前授業が行われました。この活動は東津野中学校の総合学習の一環であり、生徒らは5月14日に津野町アンテナショップ「満天の星」で実際に特産品の販売の体験をする予定となっています。授業の講師としてJA職員からは地元産業の現状や課題などを説明し、「満天の星」スタッフからは特産品の販売や生産に関する思いなどを説明しました。授業を受けた生徒からは地域農業の現状や生産・加工・販売等の課題を自分なりに解決していく提案や、商品を販売する際のPRや戦略、特産品販売を行いなから津野町の魅力を発信することに對しての思いなど、たくさんの質問が挙がりました。学年担当の石原先生は「授業を通じて故郷の産業を知ってもらい、故郷のすばらしさを実感してもらいたい。」と期待していました。津野山地域では自分たちの故郷の特産品を地域を挙げて発信していけるよう、今後の取り組みにも力をいれていきます。

四万十地域より

水稲用除草剤『初期剤・初中期一発剤』の上手な使い方

水稲栽培における雑草防除は、近年では一発処理剤やジャンボ剤によるものが主流になってきています。薬剤の成分により有効な草種が異なるので、発生する草種に合った薬剤を使用することも大事になってきます。

初期剤や初中期一発剤といった湛水土壤処理剤をしっかり効かせるためには、薬剤処理後、**少なくとも3～4日間**、水深を**3～5cm**に保ち、**土壌表面に薬剤の処理層を形成させることが重要**です。そのためには田面を均平にし、漏水を極力防ぐ圃場作りを心がけましょう。



土の表面に除草剤の処理層ができるので、水を外に流さないようにする（止水7日間）。

【商品紹介】

商品名	成分数	使用量	使用時期	使用回数	特性
デルカット乳剤	2	500ml/10a	植代時（移植4日前まで）	1回	代かき作業時に原液で土壌混和処理を行なえる
ホクト粒剤	4	3kg/10a	移植後5日からノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで		クリンチャーの成分を含む
ホームランLジャンボ	3	500g/10a	移植後3日からノビエ2葉期 ただし、移植後30日まで		バック剤の定番商品
カイリキZジャンボ	3	300g/10a	移植3日後からノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで		新商品 ノビエに対する長期残効性と難防除雑草等に有効
フルパワーMXジャンボ	3	500g/10a	移植後5日からノビエ3.5葉期まで ただし、収穫60日前まで		新商品 抵抗性雑草や広葉雑草にも有効
イノーバDX粒剤	4	1kg/10a	移植直後からノビエ2葉期まで ただし、移植後30日まで		田植同時散布が可能

※薬剤使用前に農薬のラベルを熟読し、使用量、使用時期・回数等を十分注意して使用基準を守りましょう。

～紹介した商品以外の除草剤については、各支所・グリーンにお問い合わせ下さい～

役立つ！ 得する！ 情報 えいのう～

津野山地域より

ゆずに肥料を施しましょう



なぜ肥料が大事なのでしょうか？

厳寒期が終わり、気温も上昇してくる時期となりました。この時期には、新根の伸長が盛んになり、同化養分の蓄積が始まるころです。地下部の根張りの良し悪しによって地上部（枝葉）の生育が左右されます。施肥は必ず適切な時期に行うようにしましょう。

また、ユズ部会（津野山）では出荷先であるJA馬路村の栽培基準に準じた栽培方法を行います。よって、**化学的に合成された農薬及び肥料は使用できません（除草剤も全く使用できません）。有機栽培に準じた栽培管理を行ってください。**

＜成木の施肥と病害虫防除の時期＞

時期（月）	肥料名（成分量） 適用病害虫	施用量（kg/10a） 防除薬剤（希釈倍率）	成分量（kg）			注意事項
			窒素	リン酸	カリ	
3月上旬	ゆず園（7-4-5） （発酵ケイフン）	140（200）	9.8 （10.5）	5.6 （6.0）	7.0 （7.5）	元肥です。 必ず実施！
4月	そうか病 幹腐れ病	Zボルドー（500倍）	—	—	—	※1
5月	ゆず園（7-4-5） そうか病	80（※2） Zボルドー（500倍）	5.6	3.2	4.0	—
6月	幹腐れ病 ミカンサビダニ	ICボルドー 66D（50倍） ①イオウフロアブル（400倍） ②コロマイト水和剤 （2,000～3,000倍、2回以内）	—	—	—	※3
7月	ミカンハダニ	ハーベストオイル（150倍）	—	—	—	※4

- ※1 早い芽が1cm程度伸びた時期に必ず実施する。
- ※2 5月下旬の追肥（ゆず園）は着花量に応じて加減する。
- ※3 カミキリムシの産卵防止のため、除草に努める。
イオウフロアブルはICボルドー 66Dとは前後2週間以上間隔をあけて散布する。コロマイト水和剤の総使用回数は2回以内。
- ※4 葉の表裏、幹部にも十分散布する。カミキリムシの駆除に努める。

＜幼木の施肥の時期＞（10a当たり80本植えを基本とする）

【例1】

時期	肥料名（成分量）	10a当たりの施用量（kg）	1樹当たり施用量（kg）	合計（kg）
3～10月（月1回）	ゆず園（7-4-5）	40（月1回量）	0.5（月1回量）	320

【例2】※発酵ケイフンの連続施用は避ける。

時期	肥料名	10a当たりの施用量（kg）	1樹当たり施用量（kg）	合計（kg）
3～10月（月1回）	菜種油粕または発酵ケイフン※	80（月1回量）	1（月1回量）	640

※わからないことがあればJAまでご相談ください。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

ほんのりと実家の庭に梅の花
梅の香に別れる刻を包まるる

武政礼子

配食の彩あざやかな冬毒
住み古りて家壊さるる虎落笛

市川和美

茶の花や生家はすでに三代目
戦知る女は強し寒椿

今橋孝子

凍て空に夜ごと煌めく兄の星
横浪のスカイラインに待つ初日

玉川治美

迷ひ猫今は炬燵の主となり

冬耕の田を埋めつくす群れ鴉

田中信子

大晦日京のバス停人の渦
目覚むれば吾百寿のお元日

竹内春猪

賜与通知祝ふ朝の梅の花
小魚跳ね湖面に揺るる冬あしたの月

西宮正衛

岳おろす風の重たき冬の蝶
干し大根手塩に掛けしちぢれかな

長谷部延子

木枯や光するどく月渡る
初詣宮を恵方として拝む

渡辺小梅

短歌

窪川短歌教室

スーパ―を出ると夕闇せまりいてにわかに重し編の材料

中内 佐登美

庭土をひつたり濡らす雨降りてまだ寡黙なる冬を引き寄す

文野 見枝子

慰霊祭で顔知らぬ父に献花せり母と祖母との想いものせて

岡村 香代子

こどもたちに戦禍あるなど祈りつつ描きつづけしいわさきちひろ

黒岩 やよえ

遠くより救急車がまた近づく耳すましおり里のくらしに

島岡 紀美

汽車の窓ふれんばかりに咲きみてりつわぶぎの花のじぎくの花

市川 隆子

無駄になることこそつれし半日をつぶす小春の避難訓練

市川 浩子

編返し魚をくわえ逃げていた猫正座させ説教してみる

北村 さちこ

【各支所連絡先】

四万十支所(旧JA四万十本所)

0880-22-0003

梶原支所(旧JA津野山本所)

0889-65-0111

興津支所

0880-25-0002

東津野支所

0889-62-2211

大野見支所

0889-57-2321

葬祭会館 ルミエール四万十

0880-22-5900

(株)JAメモリアルこうち 津野山出張所

0889-40-1955

事故受付など 高西サービスセンター

0889-40-4141

◆◆おたよりから◆◆

各地域の皆さんが頑張っていることを実感します。私もナバナ作り頑張ります。

(四万十町・74歳・女性)

毎月「こうぐり」を届けてくれることを楽しみにしています。手から手へとあたたかいです。

(津野町・85歳・女性)

俳句

こうぐりの来る日待つてクイズ解く

(梶原町・松山 松美)

寒空の流れる雲に母の顔

(津野町・弘瀬 秀頼)

念入りに栞たしかめ鞆初

(津野町・村田 三喜子)